

仮題『患者が求める「医療安全」「院内感染」対策』

<ご執筆者敬称略>

章	各章における中見出し，小見出し	文字数	図・写真	頁数
前付け	本トピラ はじめに / 国立感染症研究所 細菌第一部 泉福英信 目次	500～800字		1 + 白 1 4 + 白
第1部	<p>安全・清潔・感染なしの歯科医院 トピラ</p> <p>・歯科医院に求められる「医療安全」「院内感染」対策</p> <p>1. 患者は“安全，清潔，感染なし”の歯科医院を求めている日本歯科医師会 副会長 富野 晃</p> <p>2. 国も患者の思いを支援している北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 医療参事 佐々木 健</p> <p>3. ヒナ型にみる「医療安全管理指針」と「院内感染対策指針」北海道医療大学 教授 斎藤正人</p> <p>4. 保健所の立入検査への対応中島歯科医院 中島仁一 / 富士見台歯科 富永 燦</p> <p>・診療中に起こり得るトラブル例</p> <p>1. 局所に起こる偶発症（ここではトラブルと対応を示してください） 抜歯中に出血が止まらない，抜歯中に急に痛がる，ほか医療法人母恋日鋼記念病院 歯科口腔外科 榊原典幸</p> <p>2. 全身に起こる偶発症（ここではトラブルと対応を示してください） 血圧が上がる，息苦しくなる，気持ちが悪くなる，ほか岡山大学歯学部スペシャルニーズ研究センター 江草正彦</p> <p>3. 器材の誤飲・誤嚥（ここではトラブルと対応を示してください）北海道医療大学 口腔外科 教授 永易裕樹</p> <p>4. 形成やスケーリング時のタービン・スケーラーによる損傷（ここではトラブルと対応を示してください）景山歯科医院 景山正登</p> <p>5. 在宅歯科医療時（ここではトラブルと対応を示してください）高草木歯科医院 高草木 章</p>			(47) 1
		1200～1300字	3～4枚	2
		1200～1300字	3～4枚	2
		2000～2500字	6～12枚	4
		2000～2500字	6～12枚	4
		2000～2500字	6～12枚	4
		2000～2500字	6～12枚	4
		1200～1300字	3～4枚	2
		700～1000字	6～8枚	2
		2000～2500字	3～6枚	4

	6. 院内のヒヤリ・ハット事例東海大学 口腔外科 金子明寛	2000～2500字	6～12枚	4
	7. 院内に備えておくべき救急器具のいくつか横浜市立大学医学部 築丸 寛	1200～1300字	3～4枚	2
	.インプラント治療時に起こるトラブル			
	1. 治療開始前に注意すべき事例井上歯科医院 井上一彦	2000～2500字	6～12枚	4
	2. 治療中に注意すべき事例日本大学歯学部 准教授 萩原芳幸	2000～2500字	6～12枚	4
	3. 治療後に注意すべき事例武内歯科医院 武内博朗	2000～2500字	6～12枚	4
第2部	歯科医院に勤める効果的な「院内感染」対策 トピラ			(101)
	.院内感染の現状			1
	1. 感染性疾患発生の現状 (新型インフルエンザを含めSARS, HIV, HBV, HCV, 結核など, わが国における感染症の発生状況について)大阪府済世会中津病院 臨床検査部長 部長 安井良則	4000～5000字	12～24枚	8
	2. 院内感染の実態 (前項の感染症や多剤耐性菌による院内感染発生の現状について)国立感染症研究所 細菌第二部 室長 鈴木里和	4000～5000字	12～24枚	8
	3. 感染経路(感染原因) (針刺し事故や形成時, スケーリング時のトラブル, その他について細かく紹介)国立病院機構 栃木病院 口腔外科 医長 岩淵博史	3000～4000字	8～16枚	6
	4. 歯科医院において感染源となる病原体 (HBV, HCV, HIV, 結核ほかについて, どのようなものであるか紹介)北海道大学 口腔内科 教授 北川善政	3000～4000字	8～16枚	6
	.歯科医院における院内感染対策の問題点国立感染症研究所 細菌第一部 泉福英信	4000～5000字	12～24枚	8
	.院内感染予防のための対応鈴木歯科医院 鈴木信治	4000～5000字	12～24枚	8
	1. 院内スタッフの定期健診の実施			

	<p>2. 来院者に対する問診表の活用（一般的な問診表の中にどのように組み入れるか）</p> <p>3. チェックリストの活用</p> <p>4. 手洗いの励行（手指の衛生管理）</p> <p>5. 手袋着用の励行</p> <p>・器械・器具への対策 （ユニットやエックス線装置，またハンドピースや小器具，技工物に至る物品への対策について）鶴見大学 保存修復学 講師 小澤寿子</p> <p>・環境への対策 （入口の把手から受付まわり，待合室やトイレ，洗口コーナーに至る，院内環境全体についての対策）岡山大学 細菌学教室 准教授 苔口 進</p> <p>・感染していることがわかった患者への対応岡山大学 歯周病学 教授 高柴正悟</p> <p>・院内スタッフが感染した場合の対応北海道医療大学 准教授 池田和博</p> <p>・都道府県歯科医師会おける院内感染対策の普及事業</p> <p>1) 東京鈴木歯科医院 院長 鈴木治仁</p> <p>2) 北海道大西病院 口腔外科 部長 鳥谷部純行</p> <p>3) 愛知宮田歯科医院 院長 宮田 泰</p> <p>4) 神奈川小森歯科医院 院長 小森康雄</p> <p>VIIII. 診療報酬にみる「外来加算」への対応 （施設基準をはじめ，保険請求するための対応について）北海道保健福祉部 秋野主任技師</p>	<p>4000～5000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p> <p>3000～4000字</p>	<p>12～24枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p> <p>8～16枚</p>	<p>8</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>6</p>
後付け	おわりに / 国立感染症研究所 細菌第一部 泉福英信 奥付	500～800		1 1

<本トピラから奥付まで 総 158 頁>